

Road to the
Kira Kira
Nurse!
キラキラナースへの道!

すすめ、私!



看護師・助産師 募集案内パンフレット

JCHO 徳山中央病院

“To the Dream”

少しずつ、一步步、だけど確実に。
私が思い描いているあこがれのナース像に向かって、
いままっすぐ歩き出そう。



脳神経外科・神経内科
(南館4階病棟)
ながやま まいか
永山 麻衣花



“Feel my Growth”

いい仲間と、いい先輩がいてくれて、
毎日いろんなことが私をはぐくんでくれる、そんな場所。
今日も新しい成長が私を待っている。



手術室
かわの まさふみ
河野 昌史

STAFF:
ART DIRECTION & DESIGN/SHIROKUMA GRAPHICS
PHOTO/FILLMUS. TEXT/ONO RIE ILLUSTRATION/HIRONAKA SEIKO

Kira Kira Nurse 01



患者さんやご家族との
心のつながりを
大切にしたい

看 看護師になって間もないころ、忘れられない出来事がありました。術後の患者さんが「痛みやしびれがあり、毎日リハビリを頑張っているのに思ったように回復しない」と涙ながらに話されて…。患者さんの心が落ち着くまで話を聞き、リハビリでできるようになったことを一つひとつ一緒に振り返りました。退院が決まった日、「あなたと話をすると痛みが紛れて元気が出た。毎日頑張ろうと思えた」とうれしい言葉をかけていただいたこと、一生忘れません。看護師として大きなやりがいを感じるとともに、私も頑張ろうと勇気づけられました。

入職してはや10カ月。仕事に慣れてくると、心に余裕が出る反面、対応が雑になる恐れが出てきます。患者さんに不快な思いをさせないためにも、忙しいときこそ「もし自分が逆の立場だったら」と考え、細心の注意を払うようにしています。

患者さんとの出会いは一期一会。「この病院で良かった」「この看護師が担当で良かった」と言っていただけのように、患者さんやご家族の立場になって考え、心に寄り添える看護師でありたいと思います。

安永看護師に Interview

入職先を徳中にされた理由を教えてください

徳山中央病院を選んだきっかけは、自分が生まれた病院だったから。それに、周南市で育ったので、この病院に愛着がありました。小さいころから親しみのある病院で、少しでも地域に貢献したい。高度急性期、急性期医療を担う病院で最先端の医療を学びたい、という思いで入職を決めました。

実際に働いてみて徳中の魅力は何だと感じますか？

徳中は、周南地域の基幹病院として、患者さんに必要な処置や治療、専門的な検査などを実施しています。その上で、退院されても継続的な治療が受けられるように、多くの診療所やかかりつけ医と連携してスムーズな対応を行っていること、患者さんが安心して治療に専念できるように支援していることが強みだと感じています。スタッフ同士の仲が良いのも自慢！元気で明るくサービス精神旺盛なスタッフがたくさんいて、笑顔でイキイキと働いているのも、当院の魅力だと感じています。

一番印象に残っている新人研修は何ですか？

定期的に行われているグループワークです。6カ月目に行われたときは、困っていることやインシデント(ヒヤリハット)の経験、10カ月目のときは、達成できたことや成長できたことなどをグループで話し合いました。同期だから素直に話せるし、聞くこともできる。グループワークが大きな刺激となり、「頑張っているのは自分だけじゃない、もっと頑張ろう」という気持ちになりました。改めて看護師としての責任を感じると同時に、患者さんの安全を守るためには情報の共有やチームワークが欠かせないことも実感しました。



マンツーマンだから心強い！ プリセプターシップ

困っているときや未経験の処置があるときなど、常に声をかけてくださるのがプリセプターの中嶋さんです。勉強したことはレポートにまとめて提出。交換ノート形式でアドバイスをいただきながら、少しずつ知識量を増やしています。

プリセプターシップとは…

プリセプターシップとは、プリセプター(先輩看護師)がプリセプティ(新人看護師)にマンツーマンで関わり、一定期間、プリセプティの指導・育成を行う教育方法です。当院では、職場での対応力やメンタル面をサポートすることを重要視しており、看護能力と自立性を身につけられるように、入職から1年間、担当のプリセプターが支援します。

Kira Kira Nurse 01



プリセプター
なかしま あやの
中嶋 綾乃
(入職4年目)

共に学び、成長していきたい

日頃から心掛けているのは、プリセプティとの積極的なコミュニケーションです。できていないことや抜けを注意するよりも、改善するためのポジティブな声かけを大切にしています。意見を交換したり、自分自身が行っている方法をアドバイスしたりして、フォローすることを忘れないようにしています。



病院全体で成長を支援

新人の目印はこのバッジ。このバッジのおかげで周りとの良好な関係を築くことができます。

Kira Kira Nurse 02



成長の機会が多い
理想的な環境

入職してもうすぐ1年。日々患者さんのケアを行う中で、わからないことや疑問が生じることがあります。そんなとき、適切なアドバイスをくださるのが部署内の先輩方です。豊富な知識と技術を持つ先輩方に少しでも早く追いつきたい。その一心で、一日の振り返りや予習を続けて、自分なりに必死で努力しています。

入職して間もないころは、採血やルート確保などの技術がうまくいかず、患者さんにご迷惑をかけることもあって、気持ちが悪く落ち込みがちでした。でも、ある患者さんが「私の腕で練習しなさい。何回も失敗してうまくなるのだから」と声をかけてくださり、その言葉に励まされて、「もっと頑張ろう!」と、前向きに取り組めるようになりました。

将来は、認定看護師の資格を取得して、患者さんにより質の高いケアを提供できる看護師をめざしたいと思っています。そのため、今は外科病棟でさまざまな病態や術式、ケアの方法を学んでいます。専門的な知識と技術を確実に身につけて、患者さんの心身に寄り添い、少しでも多くの人々の支えになりたいと思っています。

8:30 出勤
必要な処置の確認や点滴の準備など、受け持ち患者さんの情報を収集。

9:30 患者さんのケア
寝たきりの方や、一部介助を要する方への清拭ケアなどを行います。患者さんの負担を軽減するため、先輩方を見習いながら、丁寧かつ迅速に行っています。



11:00 血糖値の測定
糖尿病や膵臓を手術された方など、血糖の変動が大きく血糖コントロールが必要な方にインスリン投与を行い、食前の血糖値を測定します。間違えるととても危険な行為なので2人以上の目で確認します。



9:00 回診
清潔操作を意識しながら回診がスムーズにいくように先生方を介助します。



14:00 バイタル・血圧
昨日や午前中との違いを比較しながら観察。患者さんと直接話すことができる大切な時間です。



12:45 昼休憩
ホッと一息つける貴重なひととき。先輩や後輩との会話が楽しみです。

12:00 食事介助
自分で食事がとれない方であれば、ベッドを調整して食事ができる環境を整えてから介助します。経管栄養の方であれば注入を行います。必要に応じて、片付けのときに食事量を確認。併せて口腔ケアも行います。

Goal!

坂本看護師の **とある** いちにち

17:15 退勤

記録など業務の抜けがないかを確認してから帰宅。寝る前にその日の復習、翌日の予習をしています。

16:00 申し送り

痛み止めを使用した時間や食事量、ドレーンの色や排泄量など、その日の患者さんの状態が細かく伝わるように意識しています。



15:30 点滴

13:30 看護記録

患者さんごとの看護計画に沿ってアセスメントしながらパソコンに入力。大変ですが一年間やってきて少しずつ慣れてきました。



前向きで勉強熱心な姿勢に期待

坂本さんは入職したの頃から患者さんにきちんと向き合い、仕事を早く覚えようとする姿勢が見られました。退院される方から「頑張ってるね!」と言ってもらえるのは、信頼されている証拠。これからの成長を楽しみにしています!



プリセプター になったしのぶ
新田 忍
(入職14年目)

Kira Kira Nurse 02

リーダーシップを発揮!

昨年は、新生児の疼痛緩和ケアに着目し、チームリーダーとして活動。メンバー全員が意見を交わして発信できるような場を設けたり、周囲への協力を求めたりすることができるようになりました。



ホッと一息♡
ランチタイム!

交代で昼食休憩。お弁当作りが得意な先輩の力作にいつも驚き!



院内の本館1階にはドールとローソン、本館11階にはスカイレストランが併設されています。職員は1割引で利用できてお得です!

私の勤務時間

3交代勤務

日勤 8:30-17:15 (休憩 60分)	準夜勤 15:15-0:00 (休憩 60分)	深夜勤 0:00-8:45 (休憩 60分)
------------------------------	-------------------------------	------------------------------

= 2 weeks schedule =

月	火	水	木	金	土	日
準夜	休日	深夜	休日	日勤	日勤	休日
月	火	水	木	金	土	日
日勤	準夜	休日	深夜	日勤	休日	休日



どんなときも笑顔を忘れずに
きめ細やかなケアを提供

主な仕事内容は、バイタルサインのチェック、母乳やミルクの栄養投与、おむつ交換など。また、ご両親への精神的ケアも、看護師としての大切な役割です。



わずかなサインも見逃さない

新生児は言葉で苦痛を訴えることができません。わずかな変化が生命の危機に直結するため、早く気づけるように集中して取り組んでいます。

オフの日も充実!

職場仲間とドライフラワーのアレンジメントやキャンドル作りを楽しんだり、タピオカドリンクや器を求めて旅をしたりと、休日もとても充実しています。

Kira Kira Nurse 03

NICU(新生児集中治療室) 入職8年目

Kira Fuka 原 風花

中村女子高等学校 高等看護専攻科卒業
山口県熊毛郡平生町出身



小さな命を守る責任が
やりがいになる

生まれてすぐに我が子がNICUに入り、離ればなれになってしまうのは、ご両親にとってもつらいこと。だから、より良い親子関係を築いていただけのように、ご家族とコミュニケーションを密にとりながら、必要に応じてアドバイスを行うなど、心理的なケアを大切にしています。

1000g未満で生まれた超低出生体重児のプライマリナーズをしたとき、それまで気丈に振る舞われていたお母さんが、交換ノートをする中で、早く産んでしまった自責の念や将来への不安などを綴られるようになりました。でも、しばらくやりとりをするうちに、明るい笑顔を取り戻され、良好な母子関係を築かれていた姿を見たときは、自分のことのようにうれしく感じました。

先輩も後輩も明るく優しい人ばかり。何か困ったことがあっても、すぐに相談できる恵まれた環境です。また、毎年参加している周年24時間リレーマラソンでは、院内のさまざまな部門の方と交流を深めることもできます。

これからも、上級ナースのコミュニケーション術を参考にしながら、中堅ナースとしてリーダーシップを発揮していきたいと思っています。

私の勤務時間 育児時間勤務

日勤(6時間)
9:00~15:45
(休憩45分)

= 2 weeks schedule =

月	火	水	木	金	土	日
日勤	日勤	日勤	日勤	日勤	休日	休日
月	火	水	木	金	土	日
日勤	日勤	日勤	日勤	日勤	休日	休日



家族の協力があるから
無理なく働ける

私が無理なく働けるように、夫も家事や育児に積極的に関わってくれます。妊娠中で体調が悪いときや、仕事で帰りが遅くなったときも大丈夫。仕事に集中できるため、心から感謝しています。



現在2人目を妊娠中。ユニフォームは後ろのリボンにサイズ調整ができるので、お腹が大きくなっても安心です。

働きやすい時間帯を選べるから
ママになっても安心!

子どもが3歳までは「育児短時間勤務」と「育児時間」が選べる子育て支援制度があります。産休から復帰してしばらくは、1日8時間・週3回の「時短」で働いていました。今は少し時間に余裕ができたので、平日のみ1日6時間働ける「育児時間」を利用しています。

職場のサポートも万全!
子育てとの両立もしやすい

なるべく残業にならなくていいように、病棟スタッフが気遣ってくださるので、とても助かっています。院内保育所「ひまわり保育園」には、病児保育も併設されているので、子どもが病気の時も安心して働けます。



24時間OK!

病児OK!

途中入園OK!

残業や夜勤のときも安心!
院内保育所「ひまわり保育園」が心強い

子どもは院内保育所で夜8時まで預かってもらえるので、残業や研修で遅くなる時も安心。週3日は24時間対応なので夜勤もOK。病児保育に空きがあれば、当日でも預かってもらえるのでありがたいです(原則前日までの予約が必要)。

Kira Kira Nurse 04

血液内分泌科・放射線科・消化器内科
(西館6階病棟) 入職9年目

Nakayama Sakina 中山 咲奈

広島国際大学 看護学部卒業
山口県下松市出身



自分も、周りも気持ち良く
日々の当たり前を大切に

人目の出産で5日間の入院生活を体験したとき、助産師さんの声かけやサポートによって、不思議と陣痛の痛みが和らぎ、安心して出産することができました。そこで初めて、看護師の存在の大きさや役割の重要性を実感。私も患者さんに安心感を与えられる看護師になりたいとより強く思うようになりました。

消化器内科は、検査入院の方が多い一方、放射線科と血液・内分泌内科はがん患者さんが多く、長期入院されている方がほとんどです。寝たきりや動けない方も多いため、身体を拭くだけでなく、シャワーを使って髪を洗うなど、どうすれば患者さんがもっと気持ちよくなれるのかを考えながら、全身ケアに力を入れています。

日頃から心がけているのは整理整頓です。仕事が忙しくなると、つい片付けを後回しにしてしまいがちですが、患者さんをお待たせしないためには、必要な物が所定の位置にきちんと揃っている状態がベストです。効率よく仕事が進められ、業務時間内に帰宅できます。当たり前のことではありますが、気持ちよく仕事ができる環境を整えることが大切だと思っています。

Kira Kira Nurse 04



8・9月

新人一年目もいよいよ中盤！
日々の学びを大切に

10月

理想の看護師像をめざして
みんなでステップアップ！

- 6ヶ月研修…理想の看護師像への課題の明確化
 - ・褥瘡予防対策②
 - ・与薬の技術③(輸血)
 - ・記録について②(アセスメントなど)
 - ・グループワーク
- 医療事故防止の講義・意見交換



新人のときは誰でも不安でいっぱい。
そんな新人ナースのみなさんと一緒に考え、楽しく学びながら、
一年間を通して看護能力を高めていくプログラムを実践しています。
看護師としての第一歩をしっかりとフォローします。

※令和2年度実施例

11・12月

一人でできることが増えて
忙しくも毎日が充実

1月

先輩からのポジティブ
フィードバックがうれしい！

- 10ヶ月研修…理想の看護師像への課題の明確化
 - ・吸入器・吸入指導について
 - ・グループワーク

3月

この一年での学びを糧に、
さらにつぎのステップへ

- 新人看護職員研修修了式



2月

組織の一員として
自分の役割を自覚！

- 1年目研修…1年間の振り返り、2年目の課題
 - ・固定チームナーシングについて
 - ・災害看護と院内の防災対策
 - ・逝去時の看護、グリーフケア講習
 - ・グループワーク

<OJTや学研メソッドで実施>
グリセリン浣腸、摘便、療養生活環境の調節管理、包帯法について

卒後フォローアップ

新人ナース1年目！

4月

看護師としての基礎と院内の概要を
しっかりレクチャー

- 新人職員研修会
- 採用時研修…看護の基本技術の演習・講義
 - ・記録について①(基礎)
 - ・感染予防技術(標準予防策、無菌操作)
 - ・学研ナーシングメソッド
 - ・褥瘡予防対策①、ポジショニング
 - ・清潔・休息援助技術
(おむつ交換、移乗、体位変換、移送体験)
 - ・輸液ポンプの取扱い①(基礎)
 - ・与薬の技術①
(中心静脈内注射の管理、薬液準備、
皮下注射、筋肉内注射、点滴静脈内注射)
 - ・症状・生体機能管理技術①
(静脈血採血、検体の取扱い)
 - ・呼吸・循環を整える技術
(口腔内・鼻腔内吸引、酸素吸入療法)
 - ・食事援助技術(経管栄養法)



5月

あっという間の1カ月間！
学びや反省点を振り返ろう

- 1ヶ月研修
 - ・看護必要度・夜勤勤務について
 - ・症状・生体機能管理技術②(検体の取扱い)
 - ・薬剤の管理(麻薬・毒薬・劇薬について)
 - ・グループワーク



6月

ローテーション研修で
看護スキルをアップ！

- 2ヶ月研修
 - ・安全確保の技術、安全管理
 - ・グループワーク
- ローテーション研修開始
- 院外研修(年3回)



7月

部署・チームの一員としての
自覚と自信を身につけよう

- 3ヶ月研修
 - ・与薬の技術②(インシュリンの種類、自己注射管理)
 - ・認知症の原因疾患、症状、治療
 - ・輸液ポンプの取扱い②(実際)
 - ・心電図検査の技術演習
 - ・グループワーク
- 院内BLS講習会(心肺蘇生時の技術演習)

トップリーダー
として邁進します!



SCU(救命救急センター)
こはま まりえ
小濱 真里江
入職14年目

めざせ、看護の
エキスパート!



手術室
しげたか みか
重高 美香
入職11年目

常に自分の仕事に誇りをもち、教えてもらうだけでなく、積極的に学び、自身でキャリアを開発し、次の世代を育てていけるような看護師の育成をめざしています。

エキスパート看護師

組織全体を見渡しなが
リーダーシップを発揮できる

患者さんおよびご家族の地域におけるニーズを把握し、多職種と協働したケアを提供するため、看護実践のチームにおいてリーダーシップを発揮します。

LEVEL 3・4

ラダーの頂上
★
LEVEL 5

高度なスキルと総合的な専門力を兼ね備えた存在です

リーダー看護師

日常の看護を主体的に行い
チームメンバーとしての
役割を果たす

地域医療および地域包括ケアチームの一員として、患者さんやそのご家族、地域の人々の生活上のニーズに応えるために、積極的な問題解決に取り組みます。

LEVEL 2



リーダー・サブリーダー
・院内リーダー会Ⅰ
・院内リーダー会Ⅱ
認定看護師
ICLSインストラクター

ラダー・システムは、看護のスキルを段階的に身につけ、はしご(ラダー)を登るように計画的にキャリアアップをめざす教育プログラムです。研修や発表会といったさまざまな機会を設け、看護師として必要な知識や技術、心構えを学び、一人ひとりが、将来の目標に向かって、着実に成長できるように支援します。



循環器内科・心臓血管外科
(東館7階病棟)
はらぐち かな
原口 華奈
入職2年目

独り立ち看護師

課題解決に向けて
具体的な行動がとれる

地域医療および地域包括ケアチームの一員として、看護職に求められる役割を考え、具体的な行動につなげることが求められます。

LEVEL 1



日々(日替り)リーダー
プリセプター

憧れの先輩に
近づきたい!



婦人科・眼科
(東館5階病棟)
やながわ
柳川 なつみ
入職1年目

新人看護師

看護の基本業務を実践できる

チームの一員としての自覚をもち、指導のもと安全な看護を実践できる段階です。施設を利用される方はもちろん、チームメンバーに対しても丁寧な対応をすることが大切です。

LEVEL 0

医療安全研修

医療の安全についての正しい知識を習得し、安全に対する意識を高めるため、年3回、ラダー別に研修を実施しています。

感染管理研修

全職員を対象にした研修で、新型インフルエンザや結核など、最近の流行に応じた感染予防に関する知識や対処法を学びます。

山口県看護協会研修会館の利用

山口県看護協会では、看護職個人が看護の質の向上をめざし、主体的にキャリア開発をできるように、クリニカルラダー方式を採用した研修計画が立てられています。新人教育の一環として、看護倫理を学ぶ機会としても毎年利用しています。

看護研究発表会

各看護単位の研究グループで行っている取り組みを年2回発表し、外部講師から講評を受けています。研究・実践を学ぶことができ、日々実践している看護ケアが最善なものであるかを追求する姿勢を養うことができます。

オンデマンド研修

「学研ナースサポート」によるオンライン講義のネット配信。インターネットを利用できる環境があれば(スマホも可)、著名な講師による最新の講義を24時間、365日いつでも受けることができる個人学習システムです。

看護単位(OJT)における学習



OJTとは「On the Job Training」の略で、日常業務を通じて、看護師として必要な技術や知識、心構えを学ぶ院内教育。現場で生かせるスキルと対応力が身につきます。

ICLSコース



医療従事者のための蘇生トレーニングコース。「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標に、蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

教育研修 & 発表会

看護スキルの向上を
幅広くサポートします!



PICK UP!

集中ケア 認定看護師

濱石 聖美 集中治療室

集中ケア認定看護師の資格取得をめざした理由は、患者さんの命を救い、重症化予防や早期回復支援のためにスキルアップしたい、自ら訴えることのできない患者さんの変化を見逃さず、その瞬間にベストなケアを提供したいと考えたからです。

資格取得を決めてから試験を受けるまでの準備期間はおよそ2年間。専門分野の勉強だけでなく、コミュニケーションや指導など、さまざまな分野のことを学ぶ必要があるため、日々のケアの実践全てが資格取得のための勉強につながっています。

現在、集中ケア分野を開講している指定教育機関は東京の1校のみ。7カ月間にわたる研修期間中、仕事はお休みしましたが、徳中に在籍したまま出張扱いとして基本給が支給されました。手厚いサポートのおかげで、安心して勉強に集中することができたので、とてもありがたかったです。

資格を取得することで、この領域の看護がさらに好きになりました。患者さんを見る視点が増え、ケアの選択肢も多く持てるようになったと感じます。一番うれしいのは、患者さんに良い変化をもたらすことができたとき。患者さんから看護の素晴らしさを教えてもらっています。また、根拠をもって指導することで、スタッフから「面白い!」「楽しい!」という反応が返ってきたときも、大きなやりがいを感じます。



救急看護 認定看護師

守田 以津美 救命救急センター

限られた時間と情報のなかで重症度・

緊急度を即座に判断し、病態に応じた看護を行い、患者さんやご家族の不安と苦痛を緩和することを役割としています。救急看護の対象は、すべての疾患、すべての年齢の患者さんであるため、災害時における急性期の医療ニーズにも対応します。また、心肺蘇生講習や市民公開講座などを行い、救命技術の普及にも努めています。

PICK UP!

慢性疾患看護 専門看護師

松村 直子 地域連携・医療相談室

糖尿病や慢性腎臓病の患者さんの看護に長く携わる中で、慢性疾患の患者さんやそのご家族を支える力をより深く身につけたいと考えて資格取得を目指しました。前職を退職して大学院に通い、2年間学業に専念。臨床現場で起きていることを科学的根拠に基づいて深くアセスメントできる力が身につけて、研究や実習を通じて学内外の人々と連携することで調整力が高められたと実感しています。現在所属する地域連携・医療相談室では、退院支援から外来での療養支援まで、幅広いフェーズで患者さんと関わっています。今後も、専門看護師としての役割を發揮し、活動の幅を広げていきたいと思っています。



がん化学療法看護 認定看護師

國次 葉月 外来化学療法室

患者さんに安全で効果的な化学療法を受けていただけるように、専門的な知識と技術を生かしてサポートしています。

また、治療の副作用が最小限になるようにマネジメントして、患者さんが社会生活を送しながら治療を継続できるようにお手伝いしています。多くの患者さんを支援できるように医師や看護師、薬剤師と連携することで、がん化学療法看護の質の向上にも努めています。



認知症看護 認定看護師

重岡 和江 外科外来

認知症の方のうまく言葉にできない思いや苦痛を受け止め、多職種と連携しながら安心・安楽な入院生活を支援しています。大切にしているのは、認知症の方の

「できる力」に目を向けて一人の人間として尊重すること。退院支援やご家族への支援のほか、医療スタッフの認知症ケアに関する困りごとを解決するのも役割の一つです。また、認知症ケアチームの一員として研修会にも参加しています。

ナースのスペシャリスト!

Certified Nurse Specialist

Certified Nurse

『専門看護師』『認定看護師』

さまざまな医療シーンで活躍する看護のスペシャリスト、「専門看護師」「認定看護師」。

当院では現在、1名の専門看護師と13名の認定看護師が活躍しており、

「いつか自分も…」と考えている人にはまさに心強い環境です。

ここでは、憧れのスペシャリストたちの熱い思いと活動内容をご紹介します。

認定システム



「専門看護師」とは…

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深め、その分野の専門家として水準の高い看護実践ができると認定された看護師のことです。現在、特定されている分野は、がん看護、精神看護、慢性疾患看護などの13分野です。看護現場において、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を果たすことにより、保健医療福祉の発展に貢献し、併せて看護学の向上を図ることを目的としています。

「認定看護師」とは…

ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識をもち、その分野の専門家として水準の高い看護実践ができると認定された看護師のことです。現在、特定されている分野は、救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケアなどの21分野です。看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献しています。

タイムリーなケアの提供を推進!

“特定行為研修修了看護師”

JCHO本部は「特定行為に係わる看護師の研修制度(特定行為研修)」の指定研修機関として厚生労働省より指定されており、当院も研修実施施設の1つとなっています。

「特定行為」とは… 特定行為は診療の補助であり、看護師が医師の手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識及び技術が特に必要とされます。現在、特定されているのは38行為。指定研修機関において特定行為研修を受けた看護師は、患者の状態にタイムリーに対応できるようになります。また、患者さんやご家族の立場に立った分かりやすい説明を行うことで、治療と生活の両面からの支援を促進します。

PICK UP!

働きながら研修を受けられる恵まれた環境です

特定行為研修修了 國次 葉月

特定行為研修を受けようと思ったきっかけは、ある患者さんの一言。「病院に行っても診療を待つようになるから、点滴を受けるのを我慢した」という話を聞き、医師の指示を待つのではなく、看護師として患者さんにできる限りのことをしたいと思ったからです。

特定行為研修は、3～5年以上の実務経験があれば、認定看護師以外でも受講が可能です。特定行為の区分の内容や研修期間は、研修施設によって異なります。JCHOの連携施設である徳中の場合は2年を要します。当院は、県内でも数少ない研修実施施設の一つ。働きながら学べるため、時間や費用の面でもかなり負担が軽減されていると思います。

1年目の共通科目はeラーニングによる自学方式。計画性を持って勉強するのは思った以上に大変でした。2年目の実習は、自分が所属する施設で受けることが可能です。実際の現場で指示を出す医師が先生として指導してくださる上、一緒に学ぶ看護師仲間も顔見知りのため、とても楽しく学ぶことができました。

研修を受けたことで、自らが判断し、医師に正確に伝えることができるようになったため、患者さんに必要なケアをタイムリーに提供できるようになったと感じています。患者さんはもちろんご家族も、看護師だから相談しやすいこともあるかもしれませんが。そのため、医師に代わって診療行為を行うのではなく、看護師だからこそできる細やかなケアを提供することを心掛けています。

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を發揮するために、これから多くの看護師が特定行為を実践できるよう、仲間を増やしていきたいと考えています。

がん性疼痛看護 認定看護師



桑田 理恵 がん診療支援部
がんの痛みやがん性疼痛に用いる鎮痛薬とその薬理作用を理解し、一人ひとりに合った疼痛マネジメントとケアを行っています。がんの患者さんが体験する痛みは、身体と心に大きな苦痛をもたらします。その痛みがやわらくことで治療がよい方向に進むように、根治治療が困難でも苦痛が緩和され、その人らしい生活を送れるようお手伝いさせていただいています。

緩和ケア 認定看護師



佐々木 文子 訪問看護ステーション
私たちの役割は、がんをはじめとする生命を脅かす病気に伴う身体や心のつらさ、生活のつらさをやわらげ、患者さんが病気と向き合い、積極的に生きていけるように支援していくことです。そのため、さまざまな苦痛をもつ患者さんの人生に関心をもち、生活と必要な医療とケアを結びつけ、患者さんご家族のQOLを高められるようにチームでサポートしています。

新生児集中ケア 認定看護師



石田 裕子 NICU(新生児集中治療室)
新生児集中ケア認定看護師は、早産児や病気をもった新生児の重症化を回避するため、最新の知識や技術をもとに看護を行う看護師です。言葉で気持ちを伝えることが難しい新生児が発するさまざまなサインを読み取り、よりよい成長へつながらよう、そして、我が子の入院で精神的負担が大きいご両親に寄り添い、円滑に親子関係を確立できるように支援しています。

糖尿病看護 認定看護師



實近 彩子 血液・内分泌内科外来
糖尿病は、日々の生活のなかで自己管理が必要な慢性疾患です。そのため、長い療養生活のなかで悩みや疑問が生じることも多いと思います。そんな患者さんのために、糖尿病に関する知識や技術を提供するとともに、栄養士や薬剤師など他部門スタッフと協働し、患者さんが糖尿病とうまくつき合いながら、その人らしい療養生活を送れるようにサポートしています。

感染管理 認定看護師



(右) 松崎 さとみ
感染防止対策室

主な仕事の内容は、病院感染の調査、感染予防に関する情報提供、職員教育などで、患者さんやご家族、職員を院内感染から守るため、組織的な取り組みを行っています。私のほかに2名の感染管理認定看護師を含む、多職種で構成される院内感染対策チームと協力し、対策を推進しています。

(中央) 上山 ルリ 脳神経センター病棟

病棟勤務をしながら、ICTや院内感染対策委員会などの感染管理活動に携わっています。感染対策は、職員一人ひとりの意識や行動が重要です。少しでも感染管理に興味をもつスタッフが増えるように現場で実践可能な対策を考え、病院全体に広げるような活動をめざしています。

(左) 松原 典子 手術室・中央材料室

感染管理とは、患者さんや職員、病院に出入りするすべての人を目に見えない感染から守る活動で、院内ラウンドやサーベイランス(調査・集計・分析)を実施しています。感染対策は一人で行うものではありません。職員全員がその重要性を理解して取り組むことをめざし、活動しています。

皮膚・排泄ケア 認定看護師



(右) 原田 清美
がん診療支援部

創傷ケアやストーマケア、失禁ケアなどの専門領域に対して、質の高い看護サービスを提供し、患者さんのQOLの向上に努めています。具体的には、褥瘡ケアや予防のための定期的な院内ラウンド、患者さんのケア、看護師への相談対応や指導などを行っています。また、地域との連携としてオストメイトの会に定期的に参加しています。

(左) 秋元 夕希 外科外来

ストーマ外来では、オストメイトの方のストーマや生活に関する相談を受けて、ストーマ装具の選択やより良いケア方法を指導しています。また、褥瘡ケアチームの一員でもあるので、褥瘡回診に同行して褥瘡ケアや指導を行っています。患者さんやスタッフと共に考え、学び、より良いケアを提供することを心掛けています。

人がココに居れるまち

周南市においでませ!



魅力たっぷり! 新徳山駅ビルから目が離せない!!



2018年2月、JR徳山駅に周南市立徳山駅前図書館を核施設とする新しい駅ビルが誕生しました! お馴染みのスターバックス コーヒーや蔦屋書店、フタバフルーツパーラーも併設されています。仕事帰りやオフタイムに気軽に立ち寄ってみませんか?

All the best for your future!

これから看護師・助産師になる
みなさんへ



副看護部長 西村 綾子
看護部長 小阪 マリ子
副看護部長 藤田 紀美代

院長と看護部長と
一緒にPEACE!



みんながいたら
もっと頑張れる!



清く明るく!
が
モットーです



自分磨きのチャンスが
たくさんありますよ!



看護師・助産師という素晴らしい専門職を選ばれたみなさん、未来の自分の姿が見えますか? やりがいのある未来に向かって、このJCHO徳山中央病院にぜひ飛び込んでください。

私たち看護部は、『おもいやりのある、安全で安心できる良質な看護を提供します』を理念に、温かい心で患者さんのからだところを見守り、支えていくことを目標にしています。

また、職員一人ひとりがやりがい感を持ち、いきいきと働き続けることができる組織でありたいと考えています。もちろんあなたの周りにはサポートしてくれる先輩たちがたくさんいるでしょう。

自分が描いている看護師・助産師像をめざして自分を信じ、一緒に未来を切り開いていきましょう。

JCHO徳山中央病院 看護部長

小阪 マリ子



★ 病院の基本理念及び基本方針 ★

1. 人間としての尊厳を守り、敬愛の心を持って全人的医療を行う。
2. 臨床研究・医学教育に努め、医学の発展・普及に貢献する。
3. 関連機関と連携し、地域の健康と福祉の増進に努める。

★ 病院長 ★

那須 誉人

★ 許可病床数 ★

519床(一般病棟416床、ICU10床、NICU12床、救命救急センター25床、
小児入院対象病棟19床、緩和ケア病棟25床、第二種感染症病棟12床)

★ 職員数 ★

1,222名(令和2年4月1日現在、非常勤職員含む)

★ 標榜診療科 ★

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、緩和ケア内科、ペインクリニック内科、
神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、小児外科、救急科、
脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、
リウマチ科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、
麻酔科、病理診断科、臨床検査科



独立行政法人 地域医療機能推進機構

徳山中央病院

お問い合わせは、総務企画課/採用担当まで

☎(0834) 28-4411 (代)

〒745-8522 山口県周南市孝田町1番1号 <http://tokuyama.jcho.go.jp/>
e-mail/soumu@tokuyama.jcho.go.jp



出身校一覽

令和2年度

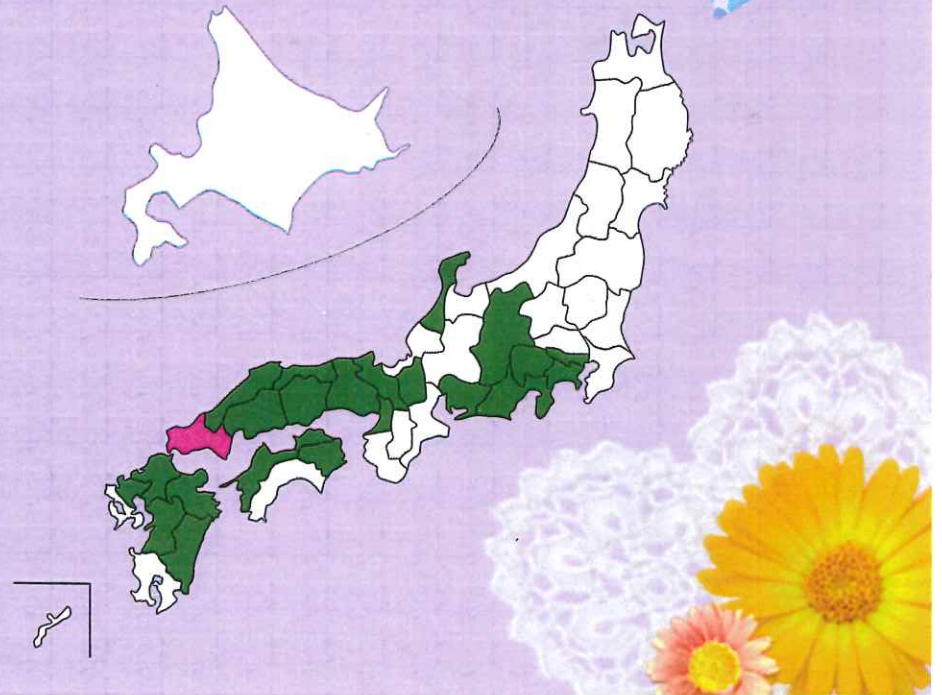
令和元年度

徳山看護専門学校・防府看護専門学校
大島看護専門学校・YIC看護福祉専門学校
山口大学・山口県立大学・山口県立大学助産別科
岩国医療センター附属岩国看護学校
平生看護専門学校・呉医療センター附属呉看護学校
中村女子高等学校衛生看護専攻科・広島国際大学
川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学
福山平成大学・広島国際大学・宮崎大学

徳山看護専門学校・防府看護専門学校
防府高等学校衛生看護専攻科・YIC看護福祉専門学校
宇部フロンティア大学・大島看護専門学校
日本医療東亜学園附属東亜看護学院・山口県立大学
中村女子高等学校衛生看護専攻科・広島大学
山口県立大学助産別科・広島文化学園大学
岩国YMCA国際医療福祉専門学校・久留米大学
岩国医療センター附属岩国看護学校・安田女子大学
日本赤十字広島看護大学・順正高等看護福祉専門学校
岡山医療福祉専門学校・岡山済生会看護専門学校
鳥取大学・南大阪看護専門学校・四条曙看護専門学校
九州医療スポーツ専門学校・西南女学院大学助産別科
鴻城高等学校衛生看護専攻科
JCHO横浜中央病院附属看護専門学校

令和3年度

徳山看護専門学校・防府看護専門学校
YIC看護福祉専門学校・山口県立大学助産別科
山口県立大学・岩国医療センター附属岩国看護学校
中村女子高等学校衛生看護専攻科・大島看護専門学校
柳井学園高等学校衛生看護専攻科・山陽学園大学
岩国YMCA国際医療福祉専門学校・萩看護学校
広島文化学園大学・広島市立看護専門学校
鴻城高等学校衛生看護専攻科・朝日医療大学
尾道市医師会看護専門学校・日本赤十字広島看護大学
西南女学院大学・ウエストジャパン看護専門学校
九州医療スポーツ専門学校・帝京大学
聖マリア学院大学専攻科助産学専攻



徳山中央病院

奨学生募集!!

徳山中央病院では、将来一緒に働く仲間を1人でも多く得るために、看護系大学または看護専門学校に通う学生さんを対象に奨学金の貸与制度を設けています。この制度では看護系大学または看護学校を卒業後、看護師として一定期間勤務することで返済が免除されます。

- ★対象者：看護系大学または正看護師養成学校に入学される方、または在学中の方
- ★奨学金：月額5万円
- ★貸与期間：在学期間（留年期間は対象外）
- ★返済免除：貸与期間と同じ期間継続勤務で返済免除
- ★募集：随時募集
- ★選考方法：書類選考および面接
- ★お問合せ：独立行政法人地域機能推進機構

徳山中央病院 総務企画課

Tel: 0834 (28) 4411 (代)

病院のご案内 +

Tokuyama Central Hospital Since 1946 Profile



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization

徳山中央病院

Tokuyama Central Hospital Since 1946

病院の理念及び基本方針

- 一、人間としての尊厳を守り、
敬愛の心を持って全人的医療を行う。
- 二、臨床研究・医学教育に努め、
医学の発展・普及に貢献する。
- 三、関連機関と連携し、
地域の健康と福祉の増進に努める。

大切なことは
信頼されること

医療に携わるものとして、それに取り組む姿勢。
基幹病院として、地域との関わり。
それらをほんの一部ですが、ここにご紹介します。
近年、新しい治療法や新薬の開発、すすむ高齢化社会など、
医療をとりまく環境は日々変化しています。
わたしたち徳山中央病院は、地域社会・地域住民の
皆様方の多様なニーズにお応えできる医療を目指し、
日々研鑽し、その理想に取り組み続けます。

独立行政法人 地域医療機能推進機構 徳山中央病院

Japan Community Health care Organization Tokuyama central hospital (略称 JCHO・ジェイコー)

主な JCHO (ジェイコー) グループ病院のミッション

- 5疾病(がん、急性心筋梗塞、脳卒中、糖尿病及び精神疾患)、5事業(救急医療、災害時における医療、へき地医療、周産期医療及び小児医療)、リハビリテーションその他地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図ることを目的としています。
- 全国約60のグループ病院や介護老人保健施設、看護学校等を拠点として、関係機関と協力しながら、超高齢化社会においても安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

Tokuyama Central Hospital Outline 概要

- 敷地面積 / 42,314.4㎡ ■建築床面積 / 66,929.7㎡
- 標榜科名 / 内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・糖尿病内分泌内科・脳神経内科・小児科・外科・脳神経外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科・心臓血管外科・リウマチ科・緩和ケア内科・精神科・救急科・ペインクリニック内科・小児外科・リハビリテーション科・形成外科・病理診断科・臨床検査科
- 許可病床数 / 一般病床 507 床 (ICU10 床・NICU12 床・緩和ケア 25 床・救命救急センター 25 床)・第二種感染症病床 12 床
- 人工臓器装置 / 37 台 ■外来化学療法室 / 20 床
- 職員数 / 約 1,192 名 (医師 135 名 (うち臨床研修医 34 名)、薬剤師 31 名、放射線技師 34 名、検査技師 41 名、管理栄養士 10 名、臨床工学技士 15 名、理学療法士 20 名、作業療法士 14 名、言語聴覚士 3 名、歯科衛生士 6 名、看護職員 649 名、事務員 84 名、その他 150 名)
- 主な設備および医療機器 / 救命救急センター、ICU、NICU、CCU、手術支援ロボット ダ・ヴィンチ、放射線治療装置、体外衝撃波結石破碎装置、CT、MRI、IVRアンギオCT、シネアンギオ、アンギオ、ガンマカメラ、PET-CT、乳房撮影装置、健診車など
- 看護体制 / 7対1 (急性期一般入院科 I) ■診療圏 / 周南環境保健所管内 (人口約 25 万人)
- 併設施設 / 健康管理センター・附属介護老人保健施設・附属訪問看護ステーション



《医療設備》
Medical Facilities



人工透析室



NICU



手術室



ICU



リハビリテーション室

《最新の医療機器》
Medical Instruments



320列CT



3テスラ MRI



PET-CT



ドクターヘリ



《救急医療》
Emergency Medical

救命救急センター



DMATチーム

DMAT-CAR



救命救急センター

救命患者の搬送

救命患者の搬送

《臨床研修》
Clinical Lecture



《院内施設》
Medical Facilities



周産期母子医療センター



周南こどもQQ



健康管理センター



緩和ケア病棟



緩和ケア病棟



体育館



レストラン

《診療圏》

3市合計
247,918人

〈平成30年10月1日調べ〉

周南市
141,225人

下松市
56,550人

光市
50,143人

徳山中央病院の診療圏（患者が来院される地域）は、比較的広範囲に広がっております。休日・夜間においても、二次救急病院として、24時間体制で受け入れができるように整備されており、近隣地区25万人の方々に「安心」を与えるよう、職員一同が全力を挙げて取り組んでおります。

《フロアガイド》

■北館

- 4F 感染症病棟
 - 3F ー
 - 2F 健康管理センター
 - 1F 健康管理センター
- 西館
- 7F 循環器内科、耳鼻咽喉科
 - 6F 消化器内科、放射線科、血液・内分泌内科
 - 5F ー
 - 4F 整形外科
 - 3F ー
 - 2F 産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科、歯科口腔外科、眼科、皮膚科、ペインクリニック内科、中央検査室、地域連携室、訪問看護室
 - 1F 医事課、薬局、点滴室、内科、整形外科、脳神経センター、内視鏡室、医療相談室

- B1 薬局、診療情報管理室

■東館

- 7F 循環器内科、心血管外科
- 6F 消化器内科
- 5F 婦人科、眼科、皮膚科、歯科・口腔外科
- 4F 小児科
- 3F 附属介護老人保健施設
- 2F 附属介護老人保健施設
- 1F ローソン（郵便ポスト、ATM）、理容室
- 附属介護老人保健施設
- B1 栄養管理室

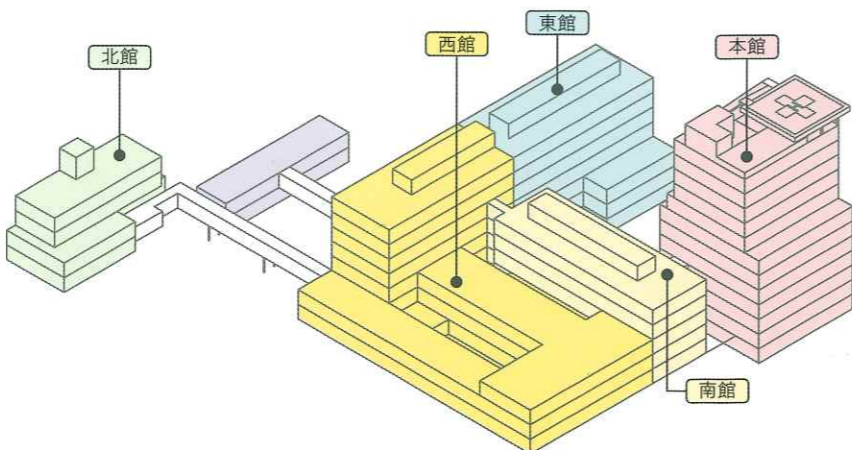
■南館

- 5F 泌尿器科
- 4F 脳神経センター
- 3F 救命救急センター
- 2F 外科、泌尿器科、外来化学療法室、家族待合室(ICU)
- 1F 心臓病センター(循環器内科、心血管外科)、心カテ室、心肺機能検査室

■本館

- 屋上 ヘリポート
- 11F レストラン、大会議室
- 10F 医局、研修医室
- 9F 院長室、副院長室、事務部長室、看護部長室、顧問室、名誉院長室、事務室

- 8F 多目的ホール(災害時収容場所)、会議室
- 7F リハビリテーション室、人工透析室
- 6F 緩和ケア内科
- 5F 周産期母子医療センター、新生児室、NICU(新生児特定集中治療室)、分娩室
- 4F 外科
- 3F 中央手術室
- 2F ICU(特定集中治療室)、高気圧酸素治療室、中央材料滅菌室
- 1F 放射線科、レントゲン受付、X線CT室、MRI室、救急処置室
- B1 放射線治療室(リニアック室)RI検査室(PET-CT室、SPECT室)、アンギオ室



《病院の沿革》

- 昭和21年4月1日 元徳山海軍共済組合病院を買収し、健康保険徳山中央病院として発足。当時は鉄筋コンクリート2階建の病棟その他付属建物等延べ3,540㎡(1,073坪)ベッド数75床・医師9名その他職員44名程度。
 - 昭和27年3月31日 結核病棟60床を増床。全病床数は135床。
 - 昭和29年4月1日 徳山地方保険防疫組合と伝染病の診療委託契約を締結し、伝染病棟30床を増床。
 - 昭和30年3月29日 木造平屋建第5病棟(結核)50床を増築。
 - 昭和34年8月31日 外来診療棟及び病棟150床を増床。
 - 昭和35年6月1日 総合病院社会保険徳山中央病院と改称。
 - 昭和37年3月31日 外来診療棟を増築。
 - 昭和40年3月28日 手術棟を増築。
 - 昭和51年5月23日 現在地(周南市孝田町1番1号)に新築移転。新病院での診療開始。全病床数は360床。
 - 昭和55年3月16日 健康管理センター・高エネルギー診療棟増築。
 - 昭和55年6月25日 中央診療棟及び健康管理センターの上に3階部分を増築し、人工透析室、その関連室を設け、既存の管理部門を改修して病棟60床を設置。全病床数は420床。
 - 昭和57年3月31日 27床を増床し(CCU2床・未熟児病棟15床・人間ドック10床)全病床数は447床。
 - 昭和63年8月16日 健康管理センター及び南病棟を増築し、35床を増床(救急専用病床20床、人工透析専用病床10床、未熟児専用病床5床)全病床数は482床。
 - 平成元年3月20日 ICU5床を増床し、全病床数は487床。
 - 平成7年4月20日 老人保健施設棟を増築。(地下1階厨房及び機械室、1階から3階までは老人保健施設、4階から7階までは病棟)
 - 平成7年5月25日 多目的棟を増築。(地下1階2階は駐車場、1階電気室及び倉庫、2階は体育館)
 - 平成8年4月1日 NICU6床開設。全病床数は482床。
 - 平成11年4月1日 徳山地方保険防疫組合と伝染病の診療委託契約を解約し、伝染病棟35床を廃止。新たに山口県と感染症の診療委託契約を締結。感染症病棟12床となる。全病床数は469床。
 - 平成12年5月18日 放射線部門(IVR-CT)増築。
 - 平成12年7月7日 徳山地方保険防疫組合より感染症病棟を取得。
 - 平成17年8月3日 ヘルシーバルとくやまを社会保険庁の入札により取得。
 - 平成20年12月1日 旧ヘルシーバルとくやま(現在の北館)の3階・4階を改修し、緩和ケア病棟25床を取得。全病床数は494床。慶万町にある周南市休日夜間急病診療所の小児科を病院内に移転し、周南地域休日・夜間こども急病センター(愛称:周南こどもQQ)を開設。
 - 平成22年9月23日 新棟(本館)を増築。(地下1階・地上11階)
 - 平成23年4月1日 救命救急センター20床を開設。
 - 平成23年9月1日 NICU 6床→9床へ増床。
 - 平成24年4月1日 救命救急センター20床→30床へ増床。
 - 平成24年5月1日 施設基準上 救命救急センター25床、ICU15床とする。
 - 平成24年7月1日 NICU 9床→12床へ増床。
 - 平成24年12月1日 地域医療支援病院の名称使用について承認。
 - 平成25年7月1日 25床増床 494床→519床(一般435床、救命救急センター25床、ICU10床、NICU12床、緩和ケア25床、感染12床)
 - 平成26年4月1日 「独立行政法人地域医療機能推進機構」への移行に伴い、「独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院」と改称
 - 平成27年3月27日 へき地医療拠点病院指定
 - 平成29年6月1日 附属訪問看護ステーション開設
- 現在に至る。



病院の指定

- 地域がん診療連携拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 歯科臨床研修指定病院
- 小児救急医療拠点病院(二次救急)
- 周南地域休日・夜間こども急病センター(一次救急)
- 地域周産期母子医療センター
- 新生児特定集中治療室(NICU)
- 特定集中治療室(ICU)
- 救急告示病院(救急車1台保有)
- 病院群輪番制(第二次救急医療)指定病院
- 地域災害拠点病院
- 第二種感染症指定病院
- 臓器提供施設指定病院
- DPC対象病院
- 病院機能評価機構認定病院
- 救命救急センター
- 地域医療支援病院
- DMAT指定医療機関

学会認定施設(指定)名

- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本心臓ペースンギン・電気生理学会 植込み型除細動器認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本心臓血管外科専門医認定機構研修施設、両心室ペースメーカー移植術認定施設、日本内科学会教育関連病院、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本小児科学会認定専門医研修施設、日本超音波医学会認定専門医研修施設、日本乳癌学会認定施設、日本リウマチ学会教育施設、日本外科学会外科専門医制度研修施設、日本消化器外科学会専門医研修施設、日本呼吸器外科専門医認定機構関連施設、日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本整形外科学会専門

- 医研修施設、日本外科学会認定基幹研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会認定専門医基幹教育施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒業後研修指導施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医研修協力機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本集中治療医学会専門医研修施設、日本口腔外科学会指定研修機関(専門医訓練施設)、日本臨床細胞学会認定施設、日本ペインクリニック学会専門医指定研修施設、日本顎顔面インプラント学会研修施設、日本周産期・新生児医学会認定研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本がん治療認定医療機構認定研修施設、九州歯科大学卒業後研修指導施設、腹部ステントグラフト実施施設、胸部ステントグラフト実施施設

《交通アクセス》



JR、タクシーをご利用の場合

JR山陽本線「徳山駅」又はJR山陽新幹線「徳山駅」下車
タクシーで約10分

バスをご利用の場合(防長交通)

- 緑ヶ丘循環
徳山駅～周陽町中央病院入口下車 …………… 徒歩2分
- 周南バイパス經由下松北口行・花岡・久保団地・鶴見台団地行
徳山駅～周陽町中央病院入口下車 …………… 徒歩2分
- 久米温泉口行
徳山駅～中央病院前下車 …………… 徒歩1分

乗用車をご利用の場合

山陽自動車道 徳山東ICより国道2号線を西に約5分



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
徳山中央病院
Tokuyama Central Hospital Since 1946

〒745-8522
山口県周南市孝田町1番1号
TEL.(0834)28-4411(代)FAX.(0834)29-2579